

## 第2章 逗子市の高齢者の現状と将来見込み

### 1 現状

#### 1 - 1 高齢者を取り巻く環境

##### (1) 高齢者人口、第1号被保険者

###### 人口の推移

本市の総人口は、平成23年10月1日現在で60,740人、65歳以上人口（以下、高齢者人口）は16,745人であり、その総人口に占める割合（以下、高齢化率）は27.57%となっています。また、平成18年度と平成23年度を比べると、総人口で0.7%増、高齢者人口で10.8%増となっており、高齢者人口の増加率が高く、中でも75歳以上人口（20.7%増）の増加率が際立っています。

###### 逗子市人口の推移

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総人口(人)	60,300	60,494	60,555	60,630	60,718	60,740
対前年増減数	-	194	61	75	88	22
40～64歳人口(人)	20,770	20,837	20,811	20,894	21,047	21,393
高齢者人口	15,117	15,524	16,016	16,415	16,612	16,745
65～74歳人口(人)	8,080	8,215	8,370	8,500	8,427	8,248
75歳以上人口(人)	7,037	7,309	7,646	7,915	8,185	8,497
高齢化率(%)	25.07%	25.66%	26.45%	27.07%	27.36%	27.57%

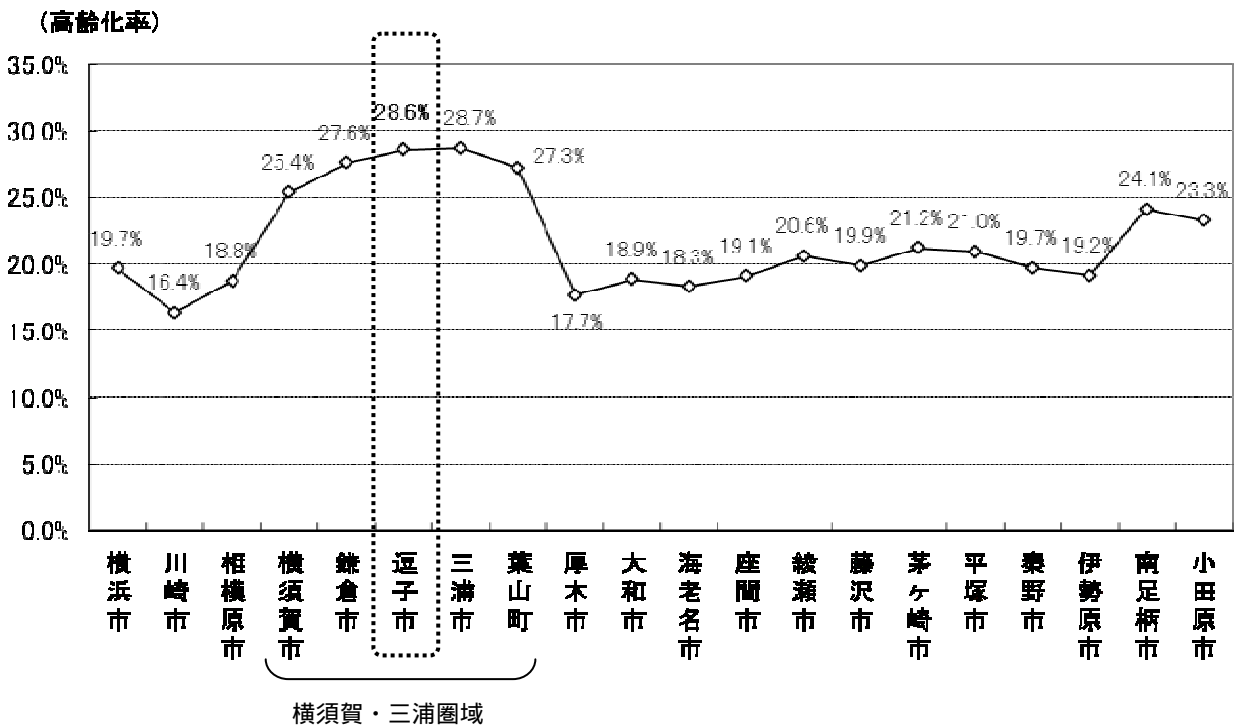
住民基本台帳人口に外国人登録人口を含めた値（各年10月1日現在）

[参考] 第4期計画と実績との差異

(単位:人)

区分	時点	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総人口	計画A	60,631	60,661	60,674
	実績B	60,630	60,718	60,740
	差異(B - A)	-1	57	66
40～64歳人口	計画A	20,895	21,092	21,460
	実績B	20,894	21,047	21,393
	差異(B - A)	-1	-45	-67
高齢者人口	計画A	16,224	16,354	16,406
	実績B	16,415	16,612	16,745
	差異(B - A)	191	258	339
65～74歳人口	計画A	8,419	8,318	8,132
	実績B	8,500	8,427	8,248
	差異(B - A)	81	109	116
75歳以上人口	計画A	7,805	8,036	8,274
	実績B	7,915	8,185	8,497
	差異(B - A)	110	149	223

[参考] 高齢化率の比較 (神奈川県内各市)



人口は、「神奈川県人口統計調査(平成22年10月1日現在)」による。

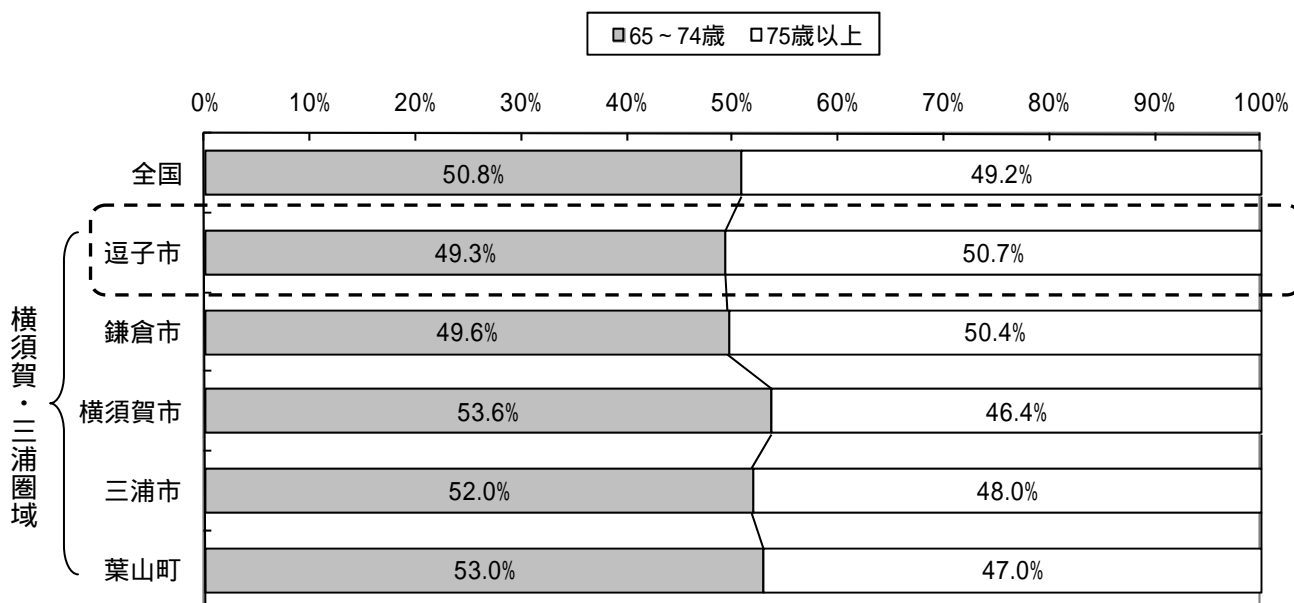
第1号被保険者数は、「介護保険事業状況報告(平成22年9月末現在)」による。

### 第1号被保険者の状況

平成23年10月1日現在、逗子市の第1号被保険者数は16,745人（65～74歳：8,248人、75歳以上：8,497人）となっております。

平成23年4月末現在の第1号被保険者の年齢構成で比較すると、75歳以上の構成割合が全国より上回っており、横須賀・三浦圏域の中でも最も高くなっています。

### 第1号被保険者の年齢別（75歳区切り）構成



介護保険事業状況報告（平成23年4月分） 認定者は4月末現在

## (2) 要支援・要介護認定者の状況

### 認定状況

本市の要支援・要介護認定者数は、平成23年10月1日時点で2,907人と毎年増加を続けており、ここ4年間は年に100人程度増加しています。

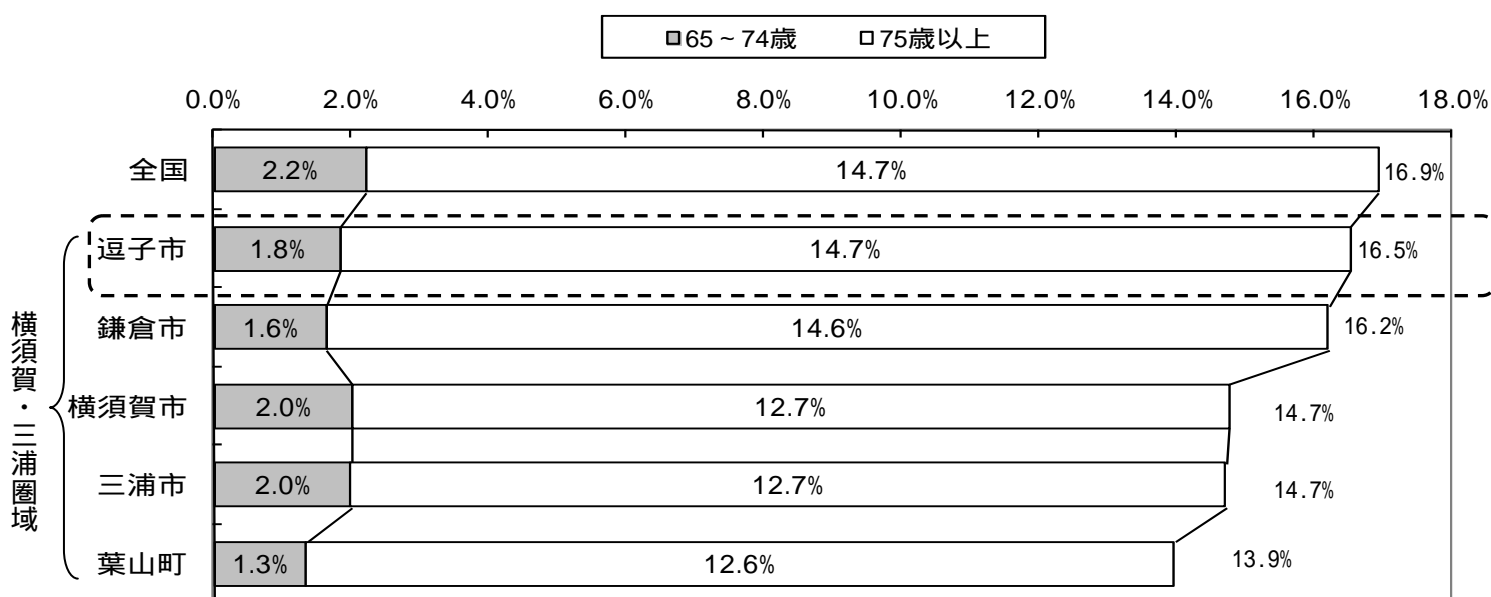
平成23年4月末現在の第1号被保険者数に占める認定者の割合を比較すると、全国(16.9%)に比べると低いものの、横須賀・三浦圏域の中では最も高くなっています。年齢の内訳では、75歳以上の割合が横須賀・三浦圏域の中では最も高く、14.7%となっています。また、認定者の介護度別構成割合では、横須賀・三浦圏域の中で、要支援1・2の割合が最も高くなっています。

### 逗子市要支援・要介護認定者数の推移

区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
要介護等認定者計(人)		2,346	2,364	2,466	2,600	2,757	2,907
対前年増減数			18	102	134	157	150
介護度別	要支援1	209	332	345	375	374	412
	要支援2	195	337	349	371	404	412
	要介護1	684	303	322	333	362	398
	要介護2	375	446	429	463	508	546
	要介護3	356	379	414	399	378	391
	要介護4	294	329	349	375	380	363
	要介護5	233	238	258	284	351	385

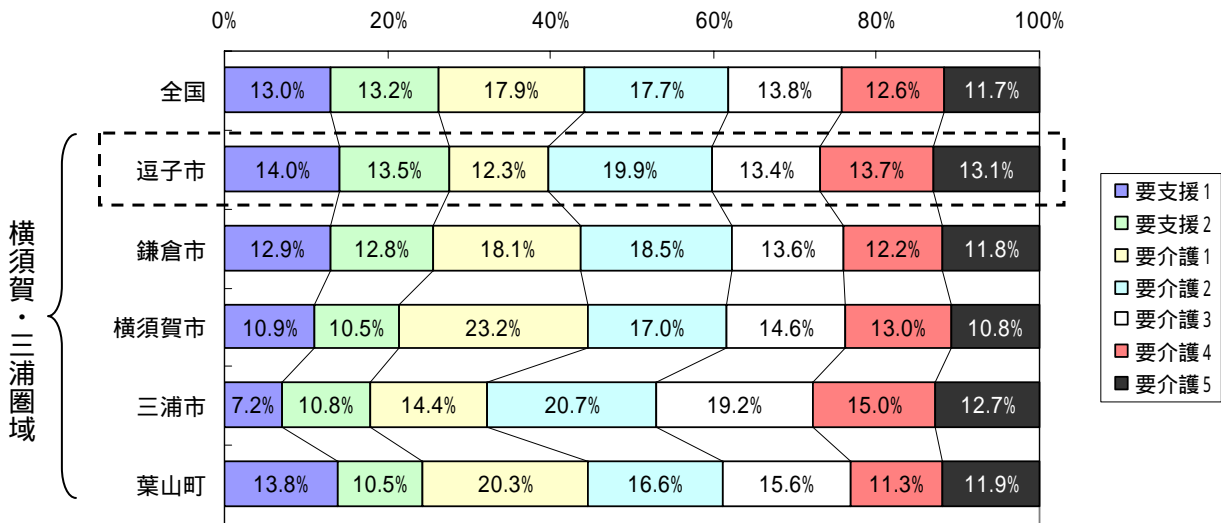
介護保険事業状況報告(各年10月1日現在)

### 第1号被保険者に占める認定者の割合



介護保険事業状況報告(平成23年4月分) 第1号被保険者・認定者は4月末現在

### 認定者の介護度別構成割合

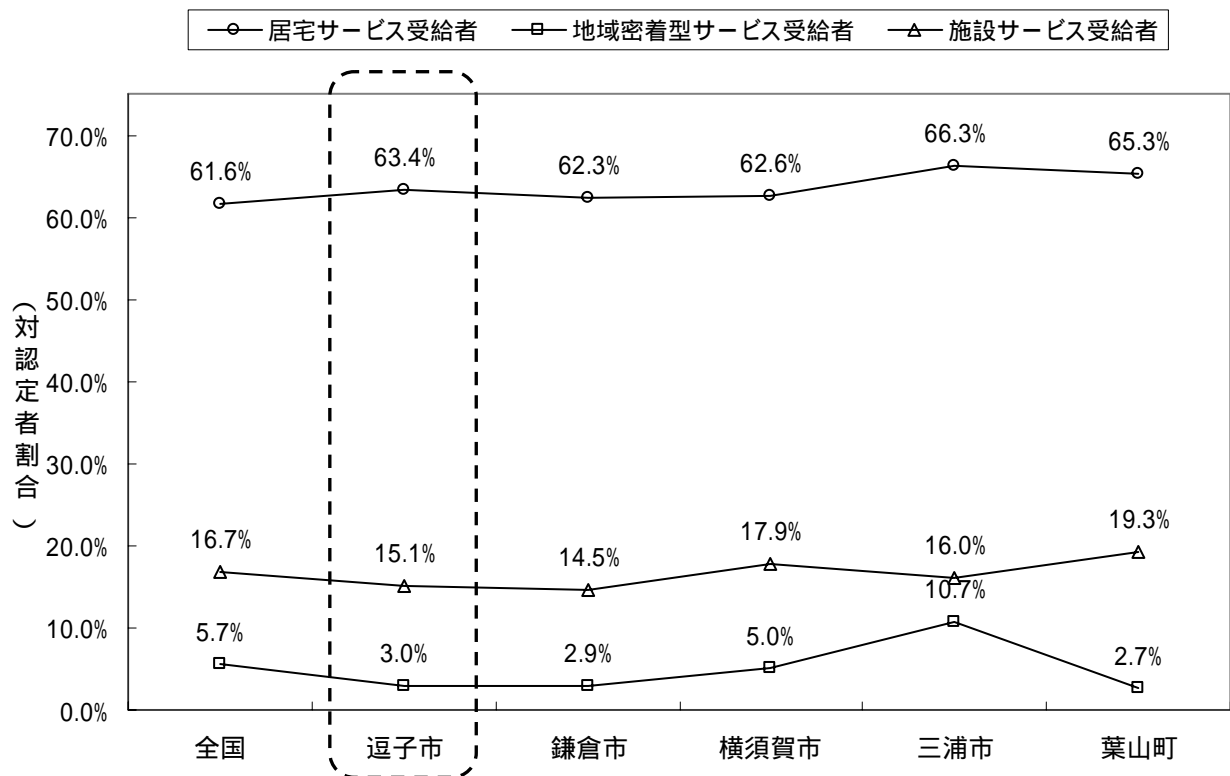


介護保険事業状況報告（平成23年4月分） 認定者は4月末現在

### サービスの受給状況

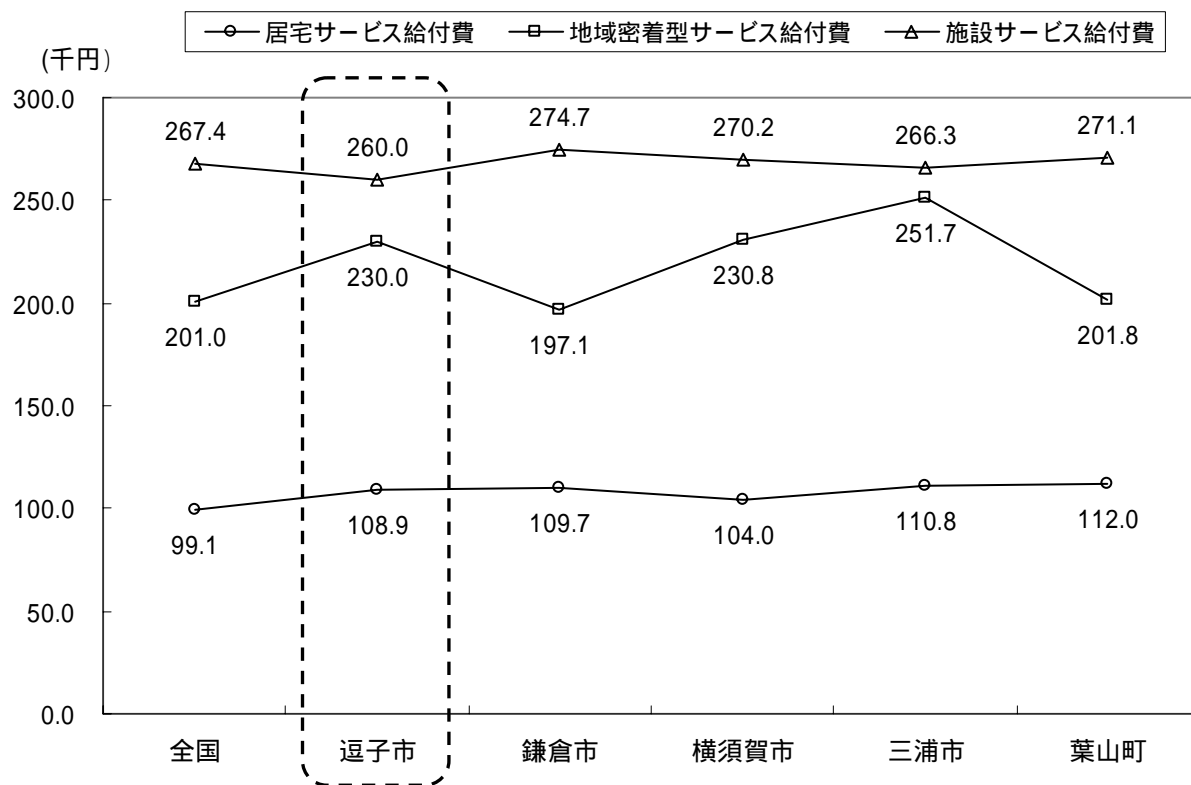
平成23年4月分におけるサービス受給者割合を比較すると、居宅サービス受給者が63.4%、地域密着型サービス受給者が3.0%、施設サービス受給者が15.1%となっており、横須賀・三浦圏域の中では施設サービス受給者割合が鎌倉市に次いで低くなっています。次にサービス種別の受給者一人当たりの給付費の比較では、施設サービス給付費、地域密着型サービス給付費、居宅サービス給付費の順となっており、地域密着型サービスの受給者一人当たりの給付費は、全国平均より高く、圏域内でも三浦市、横須賀市に次いで3番目となっています。

### 認定者に占めるサービス種別受給者割合



介護保険事業状況報告（平成23年4月分） 認定者は4月末現在、受給状況は5月利用分の実績

## サービス種別に見た受給者一人当たりの給付費

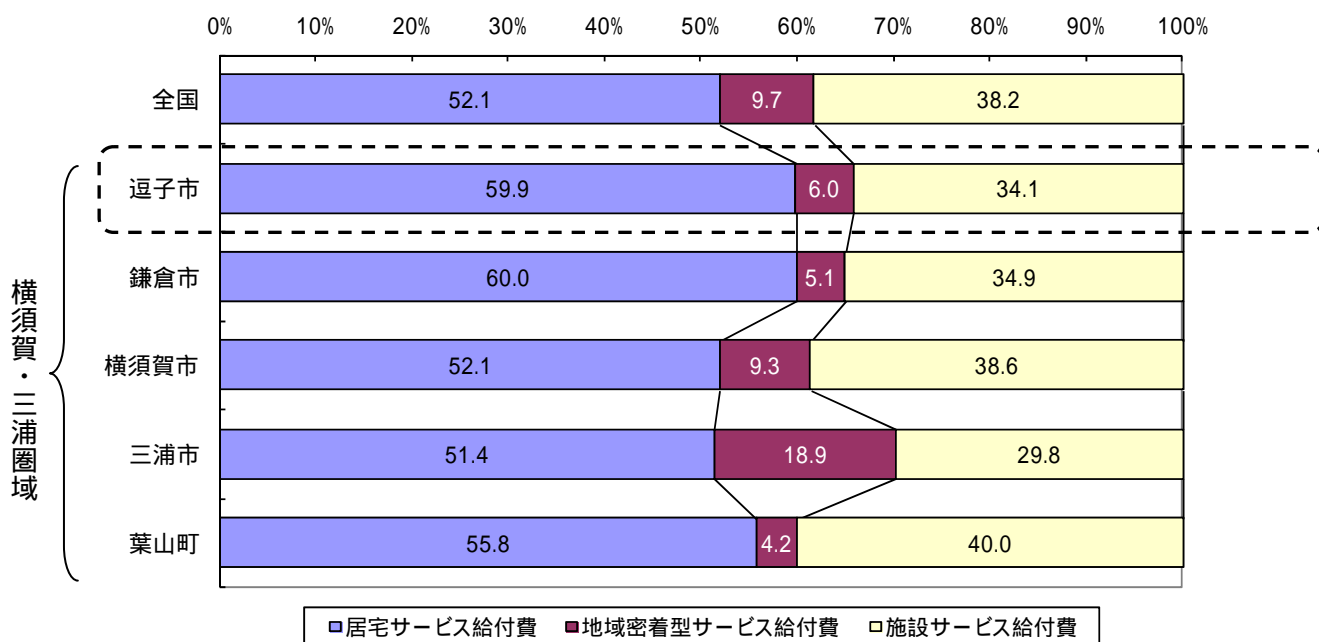


介護保険事業状況報告（平成23年4月分） 認定者は4月末現在、受給状況は5月利用分の実績

### サービスの給付費割合

平成23年4月分におけるサービス別の給付費割合を比較すると、居宅サービスの給付費割合が59.9%と、全国より高く、横須賀・三浦圏域の中でも、鎌倉市に次いで高くなっています。

### サービス種別に見た給付費の構成比

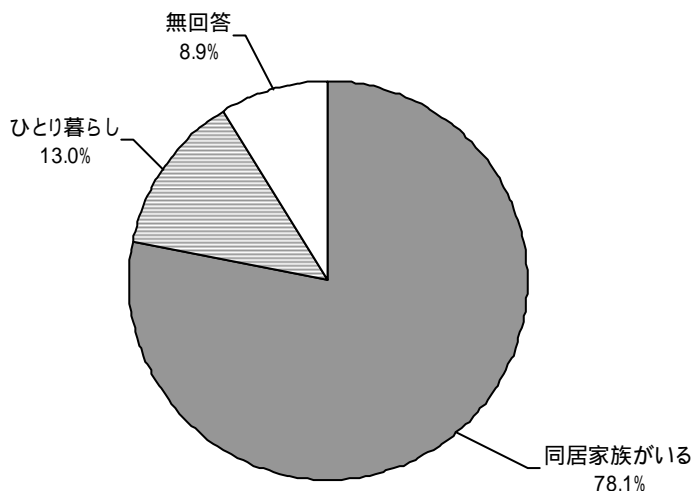


介護保険事業状況報告（平成23年4月分） 認定者は4月末現在、受給状況は5月利用分の実績



## 1 - 2 高齢者の生活実態

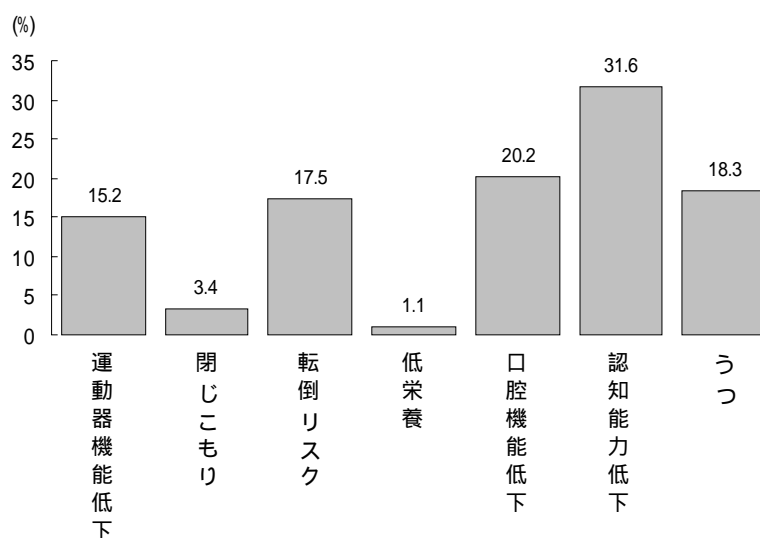
### 同居状況



一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

平成23年2月に実施した高齢者保健福祉計画改定のためのアンケート調査結果によると、「同居家族がいる」が78.1%、「ひとり暮らし」が13.0%となっています。

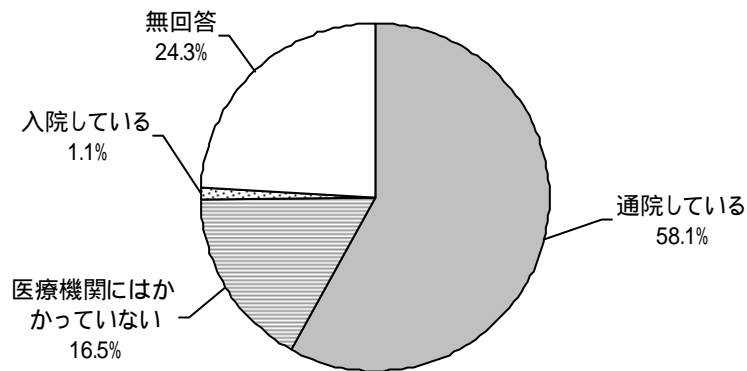
### 日常生活圏域ニーズ調査項目のリスク別の発生割合



一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

平成23年2月に実施した高齢者保健福祉計画改定のためのアンケート調査結果によると、日常生活圏域ニーズ調査項目のリスク別の発生割合は、「認知能力低下」が31.6%と最も多く、以下、「口腔機能低下」20.2%、「うつ」18.3%、「転倒リスク」17.5%、「運動器機能低下」15.2%、「閉じこもり」3.4%、「低栄養」1.1%の順となっています。特にリスクの高い「認知能力低下」の予防が重要です。

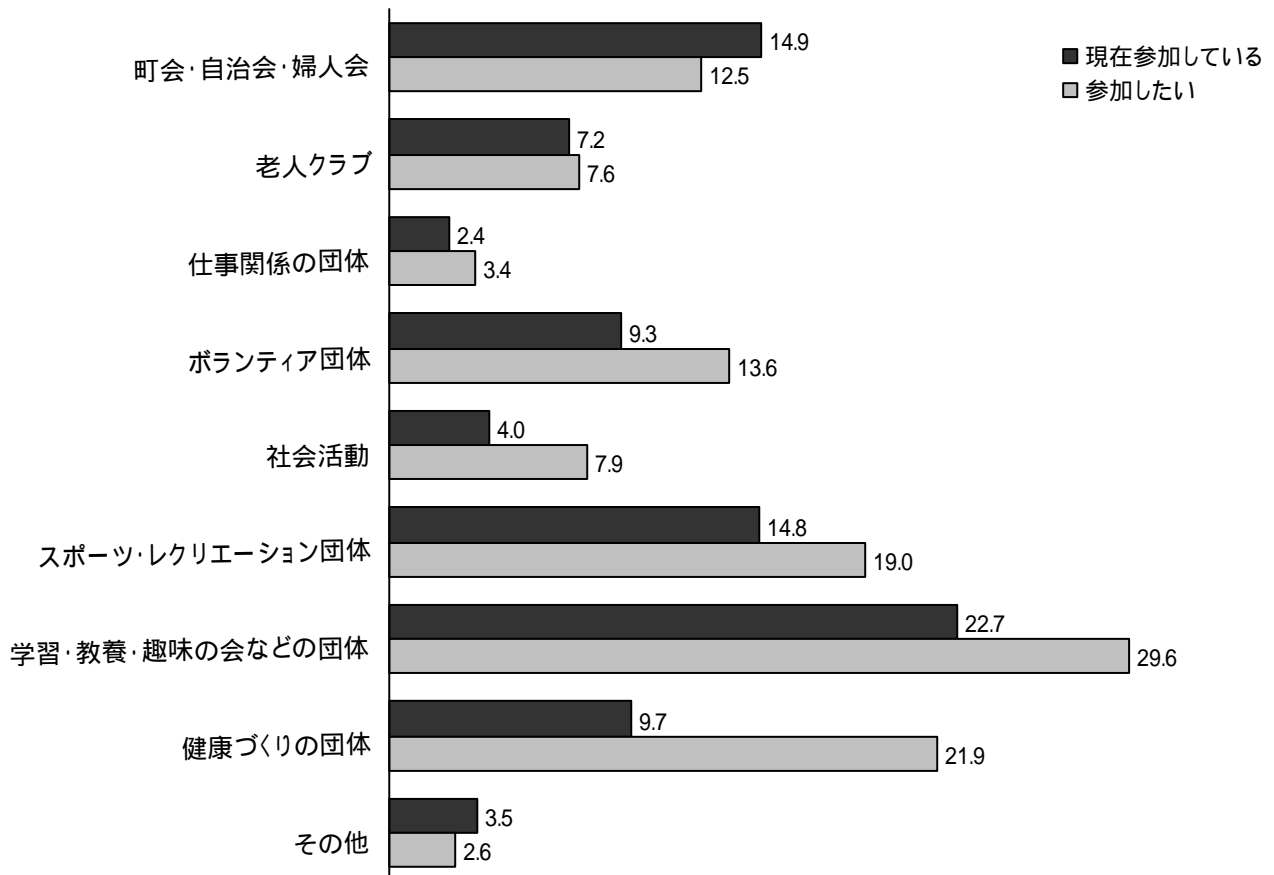
## 現在の通院・入院状況



一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

現在の通院・入院状況は、「通院している」が58.1%と過半数を占めており、医療ケアの充実が望まれます。

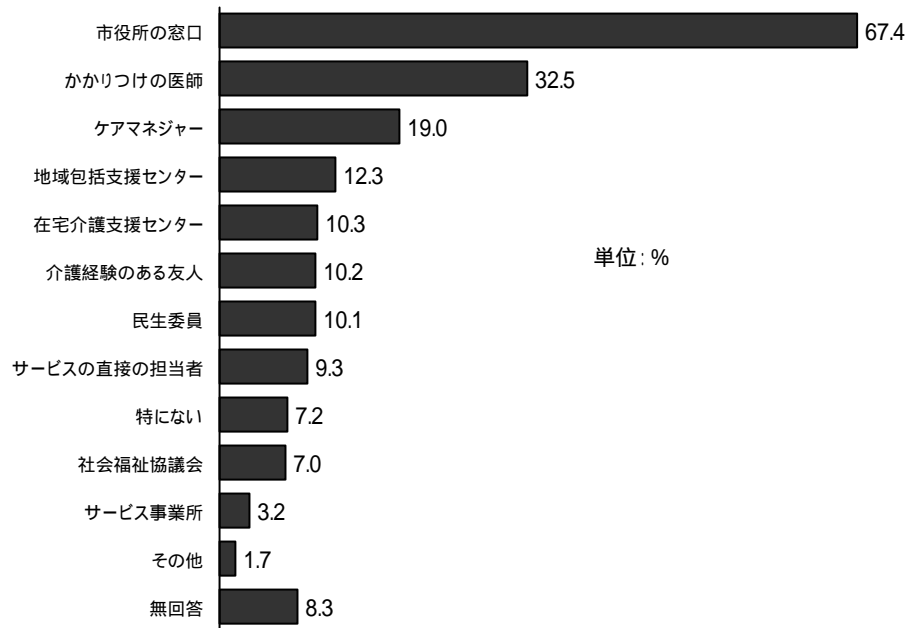
## 団体活動への参加意向



一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

団体活動への参加意向をみると、「学習・教養・趣味の会などの団体」への参加意向が29.6%と最も多く、以下、「健康づくりの団体」21.9%、「スポーツ・レクリエーション団体」19.0%、「ボランティア団体」13.6%の順となっています。高齢者が社会参加によって生きがいを持ち、いつまでも健康で生き生きと暮らせるような環境づくりが必要です。

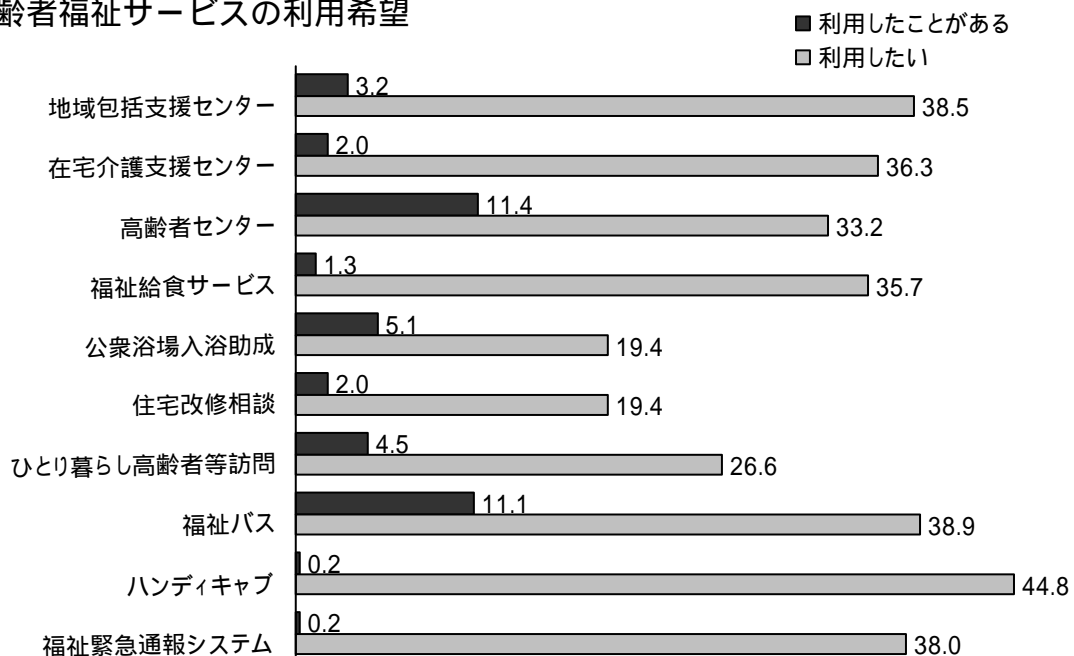
## 相談しやすい窓口



一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度について相談しやすい窓口は、「市役所の窓口」が67.4%と最も多く、以下、「かかりつけの医師」32.5%、「ケアマネジャー」19.0%、「地域包括支援センター」12.3%の順となっています。

## 高齢者福祉サービスの利用希望

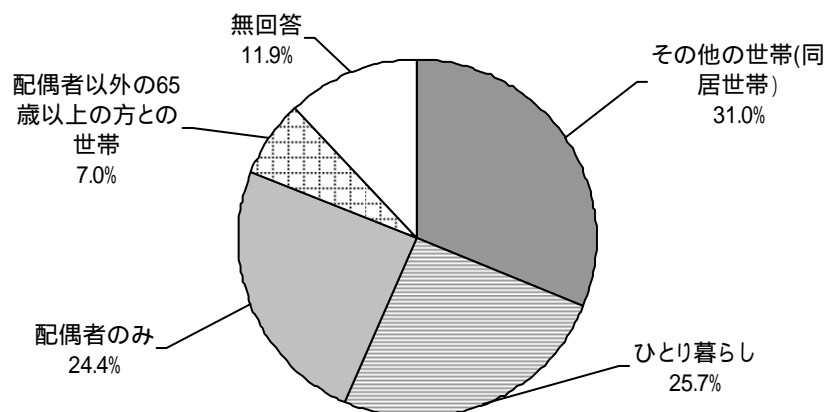


一般高齢者調査結果（平成23年2月実施）

高齢者福祉サービスの利用希望は、「ハンディキャブ」が44.8%と最も多く、以下、「福祉バス」38.9%、「地域包括支援センター」38.5%、「福祉緊急通報システム」38.0%の順となっています。介護保険サービス以外にも様々な福祉サービスの利用ニーズが高くなっています。

### 1 - 3 高齢者介護の状況

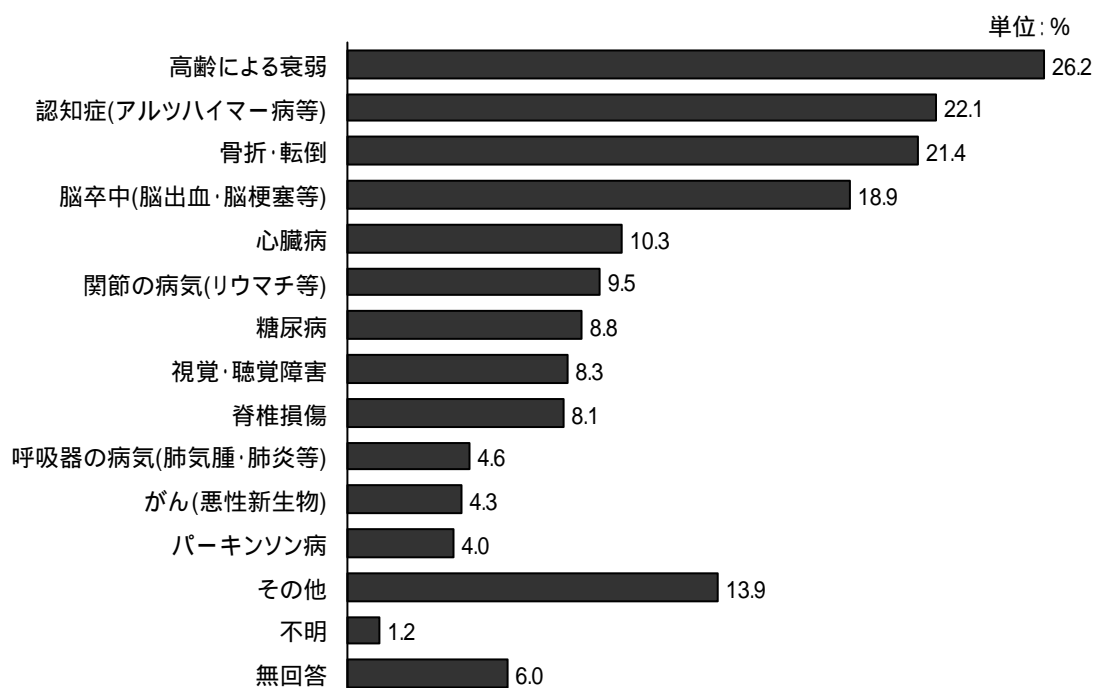
#### 家族構成



要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

家族構成については、「その他の世帯（同居世帯）」が31.0%と最も多く、以下、「ひとり暮らし」25.7%、「配偶者のみ」24.4%、「配偶者以外の65歳以上の方との世帯」7.0%の順となっています。

#### 介護が必要になった原因

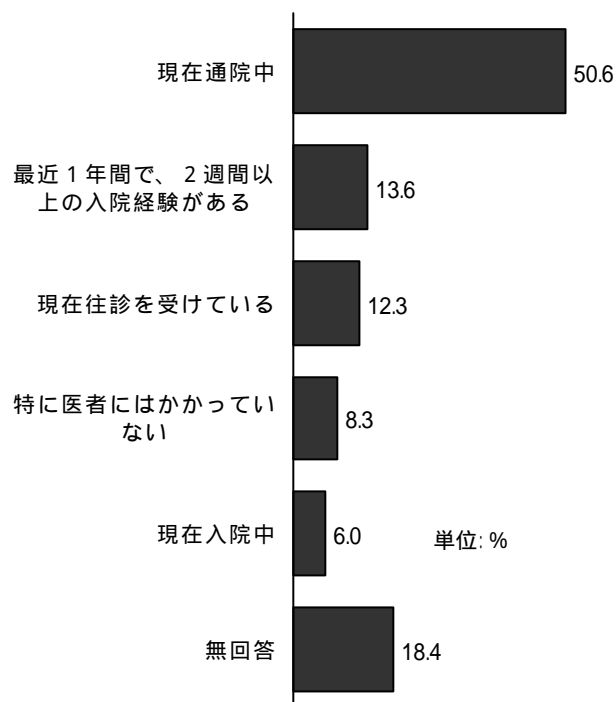


要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

介護が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が26.2%と最も多く、以下、「認知症（アルツハイマー病等）」22.1%、「骨折・転倒」21.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」18.9%の順となっています。

### 病気やけがの治療状況

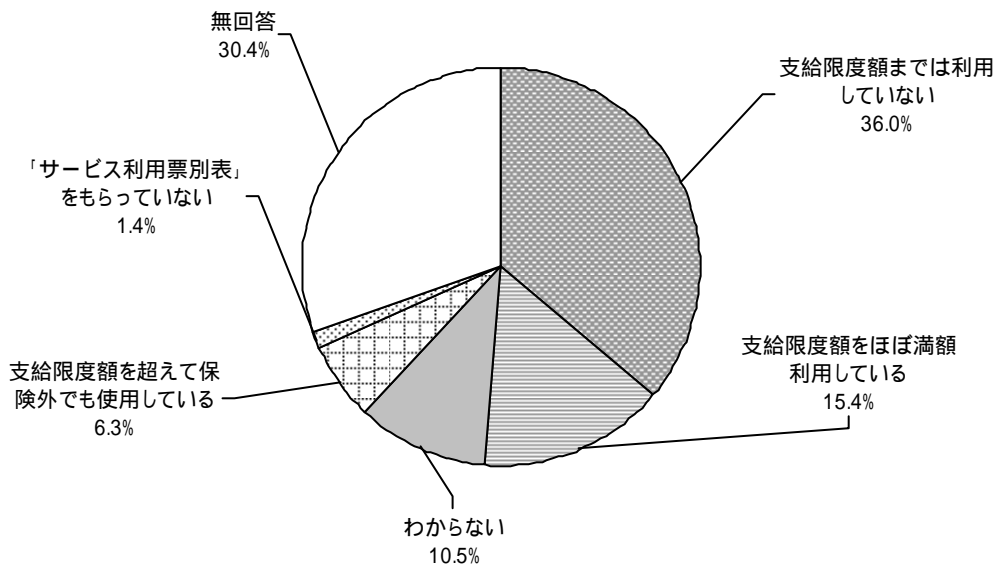
病気やけがの治療状況は、「現在通院中」が50.6%と最も多く、以下、「最近1年間で、2週間以上の入院経験がある」13.6%、「現在往診を受けている」12.3%、「特に医者にはかかっていない」8.3%の順となっています。



要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

## 支給限度額に対する利用の程度、利用していない理由

### 【支給限度額に対する利用の程度】

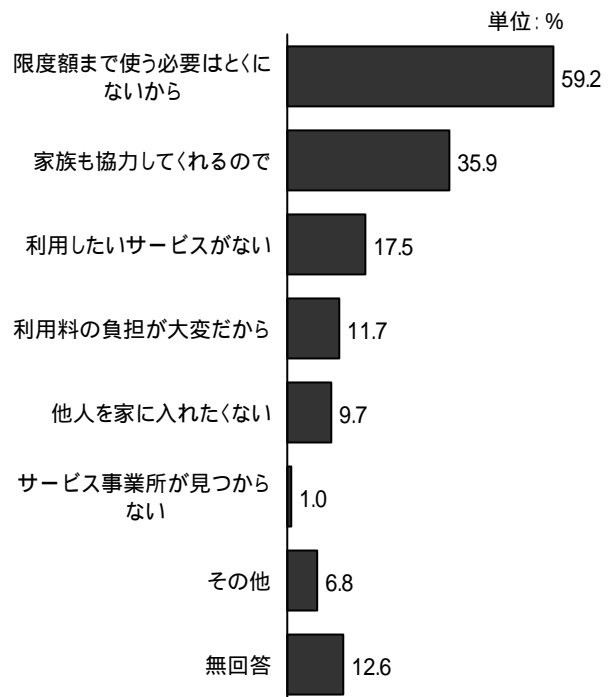


要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

支給限度額に対する利用の程度は、「支給限度額までは利用していない」が36.0%と最も多く、以下、「支給限度額をほぼ満額利用している」15.4%、「わからない」10.5%、「支給限度額を超えて保険外でも利用している」6.3%、「サービス利用票別表」をもらっていない」1.4%の順となっています。「支給限度額までは利用していない」人が多いため、今後の利用状況によっては、サービスの需要が増減する可能性があります。

### 【利用していない理由】

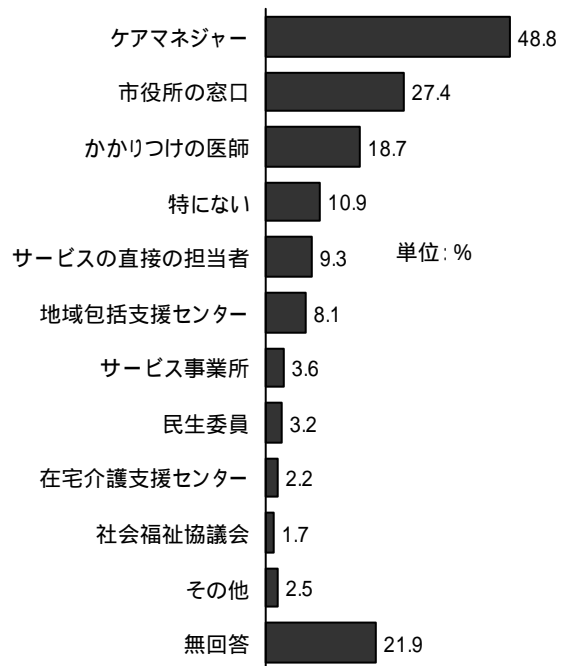
支給限度額まで利用していない理由は、「限度額まで使う必要はとくにないから」が59.2%と最も多く、以下、「家族も協力してくれるので」35.9%、「利用したいサービスがない」17.5%、「利用料の負担が大変だから」11.7%、「他人を家に入れたくない」9.7%、「サービス事業所が見つからない」1.0%の順となっています。



要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

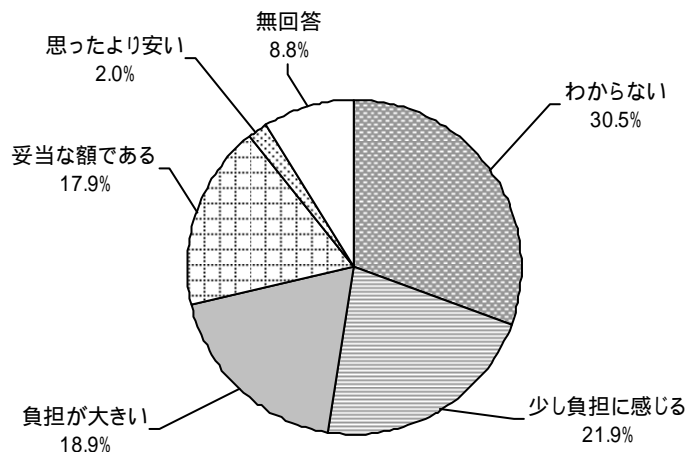
### 相談しやすいところ

介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度について相談しやすいところは、「ケアマネジャー」が48.8%と最も多く、以下、「市役所の窓口」27.4%、「かかりつけの医師」18.7%の順となっています。



要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

### 介護保険料の負担感

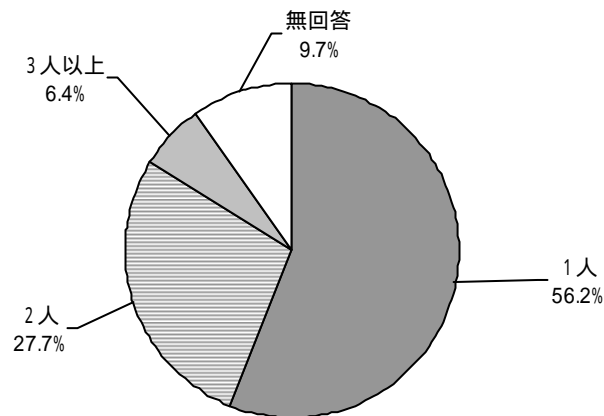


要介護認定者調査結果（平成23年2月実施）

介護保険料支払額の負担感については、「わからない」が30.5%と最も多く、以下、「少し負担を感じる」21.9%、「負担が大きい」18.9%、「妥当な額である」17.9%、「思ったより安い」2.0%となっています。

## 介護者の人数、性・年齢、介護者の状況

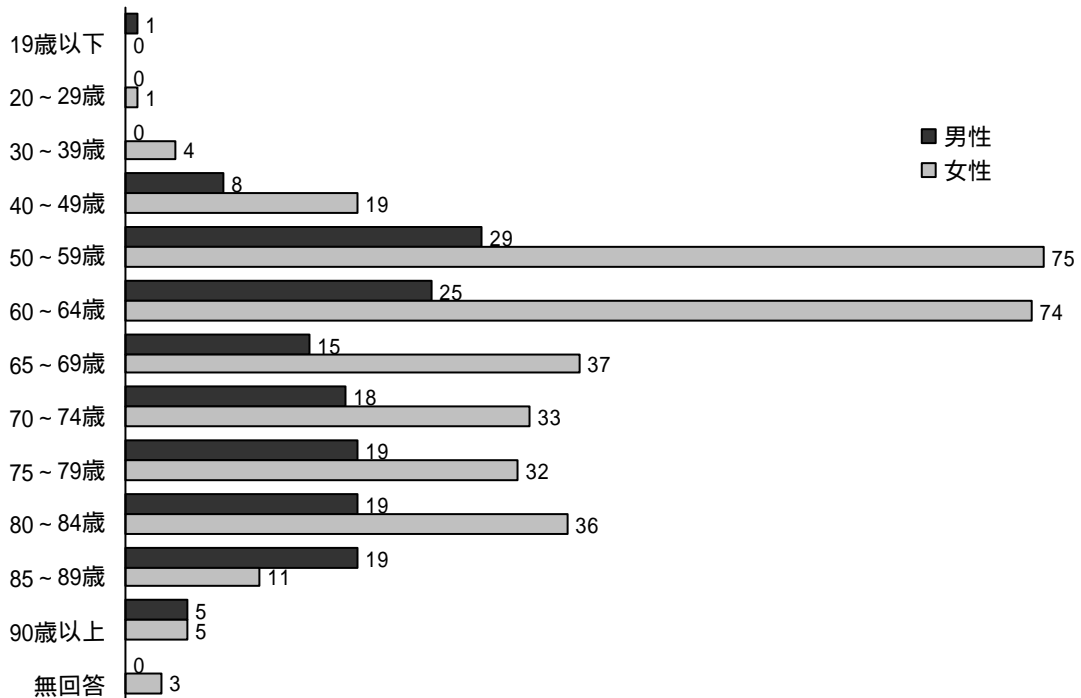
### 【介護者の人数】



介護者調査結果（平成23年2月実施）

介護者の人数は、「1人」が56.2%と最も多く、以下、「2人」27.7%、「3人以上」6.4%となっており、過半数が「1人」という状況です。

### 【介護者の性・年齢】

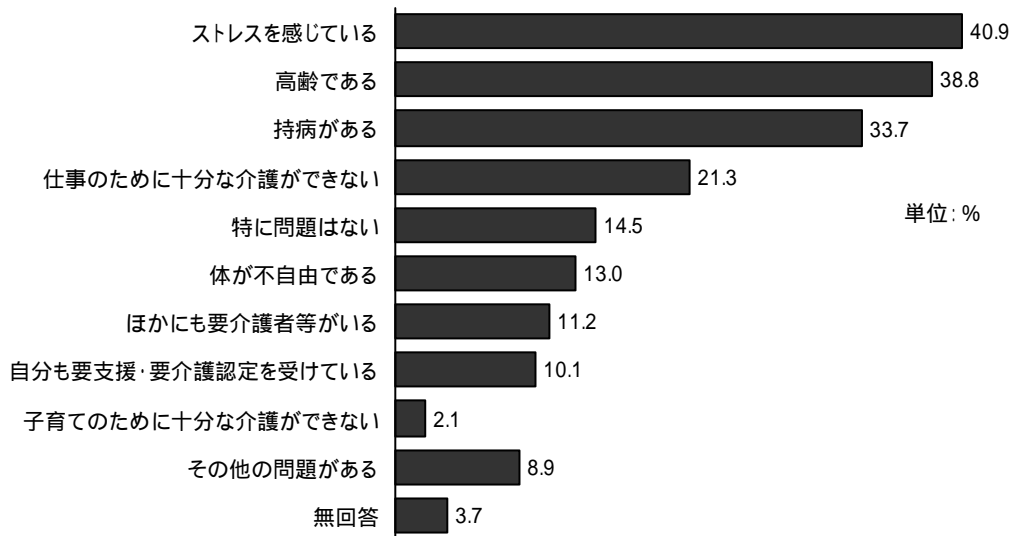


介護者調査結果（平成23年2月実施）

介護者の性別は女性の方が多く、特に女性50歳～64歳が多くなっています。男女とも50歳代から急激に人数が増加しており、50歳以上は全体の約9割を占めています。



## 【介護者の状況】

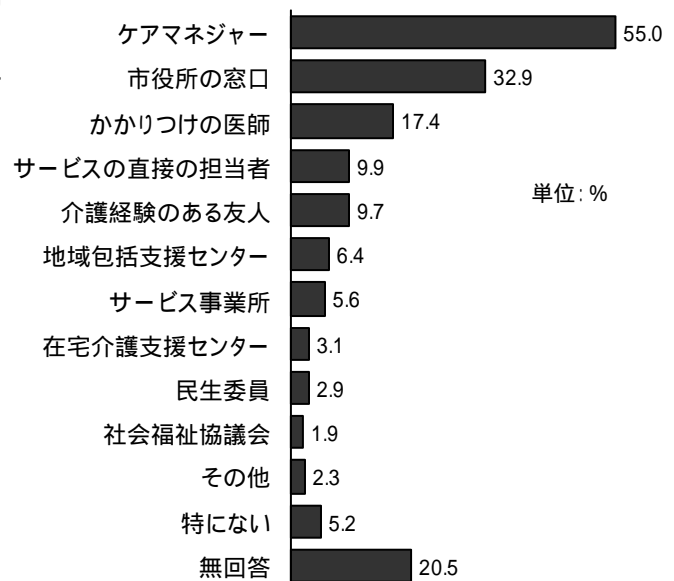


介護者調査結果（平成23年2月実施）

介護者の状況は、「ストレスを感じている」が40.9%と最も多く、以下、「高齢である」38.8%、「持病がある」33.7%、「仕事のために十分な介護ができない」21.3%、「特に問題はない」14.5%、「体が不自由である」13.0%、「ほかにも要介護者等がいる」11.2%、「自分も要支援・要介護認定を受けている」10.1%の順となっています。また、「その他の問題がある」の具体的な内容としては、「体調不良・病気・疲労など」が多く見られました。

### 相談しやすいところ

介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度について相談しやすいところは、「ケアマネジャー」が55.0%と最も多く、以下、「市役所の窓口」32.9%、「かかりつけの医師」17.4%の順となっています。



介護者調査結果（平成23年2月実施）

## 2 逗子市の将来フレーム

### 2 - 1 平成 29 年度までの見込み

#### (1) 高齢者人口

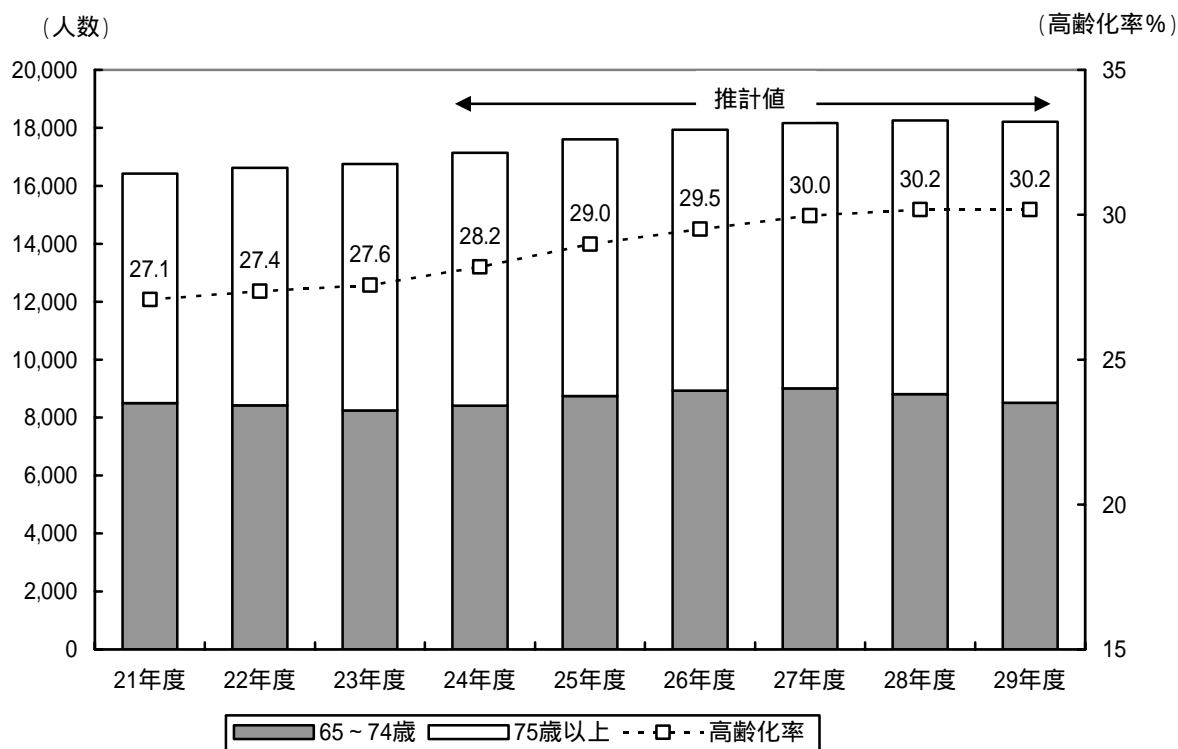
本市の総人口は、ここ最近の人口増の影響で、平成24年の60,755人まで膨らみ、その後は減少に転じて、平成29年には60,352人になると推計しています。

うち65歳以上人口は平成28年まで増加を続け、平成26年には17,930人（高齢化率が29.5%）、平成28年には18,254人と推計しています。

#### 人口の将来推計

	第5期計画								
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総人口	60,630	60,718	60,740	60,755	60,731	60,678	60,598	60,490	60,352
40～64歳	20,894	21,047	21,393	21,293	21,180	21,151	21,088	21,184	21,314
65歳以上	16,415	16,612	16,745	17,133	17,606	17,930	18,163	18,254	18,213
65～74歳	8,500	8,427	8,248	8,410	8,749	8,937	9,007	8,811	8,510
75歳以上	7,915	8,185	8,497	8,723	8,857	8,993	9,156	9,443	9,703
高齢化率	27.1	27.4	27.6	28.2	29.0	29.5	30.0	30.2	30.2

平成23年度までは住民基本台帳人口に外国人登録人口を含めた値。平成24年度以降はコーホート変化率法を用いて推計。（各年10月1日現在）



(2) 要支援・要介護認定者数

本市の要支援・要介護認定者数は、毎年増加を続け、平成24年に3,009人、平成29年には3,500人に近づくと見込まれます。

要支援・要介護認定者の将来推計

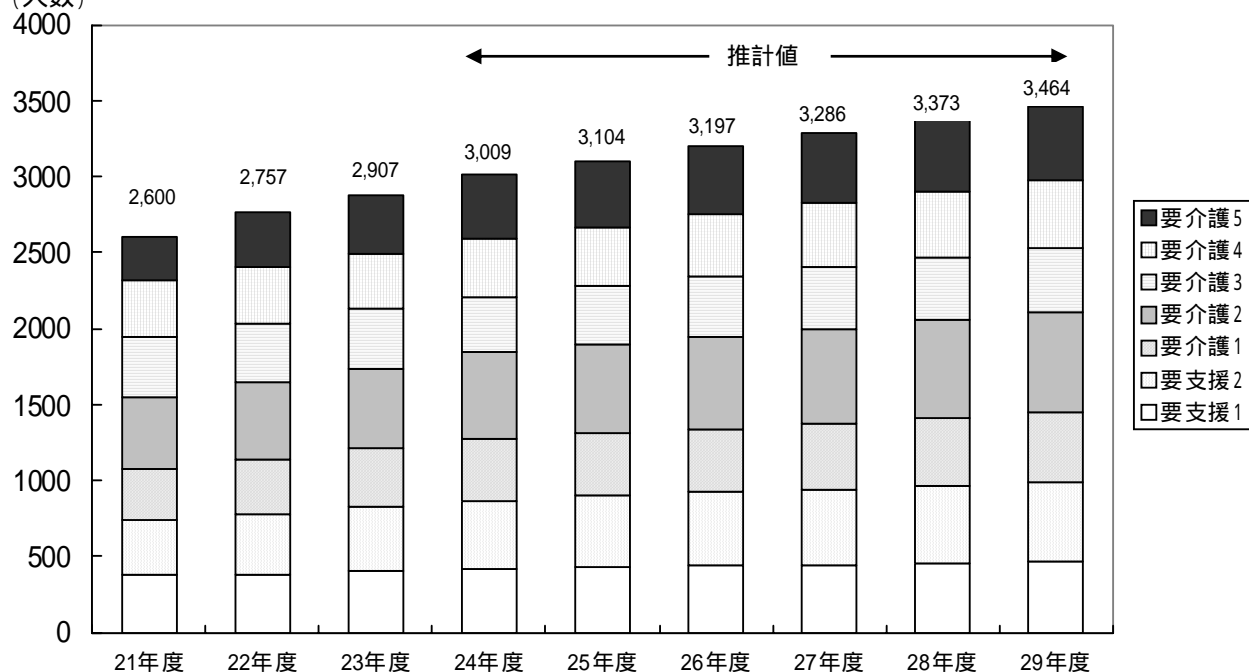
区 分	第 5 期 計 画								
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
要介護等認定者計(人)	2,600	2,757	2,907	3,009	3,104	3,197	3,286	3,373	3,464
対前年増減数		157	150	130	95	93	89	87	91
要支援1	375	374	412	412	424	435	444	455	466
要支援2	371	404	412	458	472	485	497	510	522
要介護1	333	362	398	400	410	422	433	444	455
要介護2	463	508	546	572	590	607	626	641	659
要介護3	399	378	391	364	378	390	402	413	425
要介護4	375	380	363	384	396	410	422	435	449
要介護5	284	351	385	419	434	448	462	475	488

(参考)平成21年度実績を100とした場合の伸び

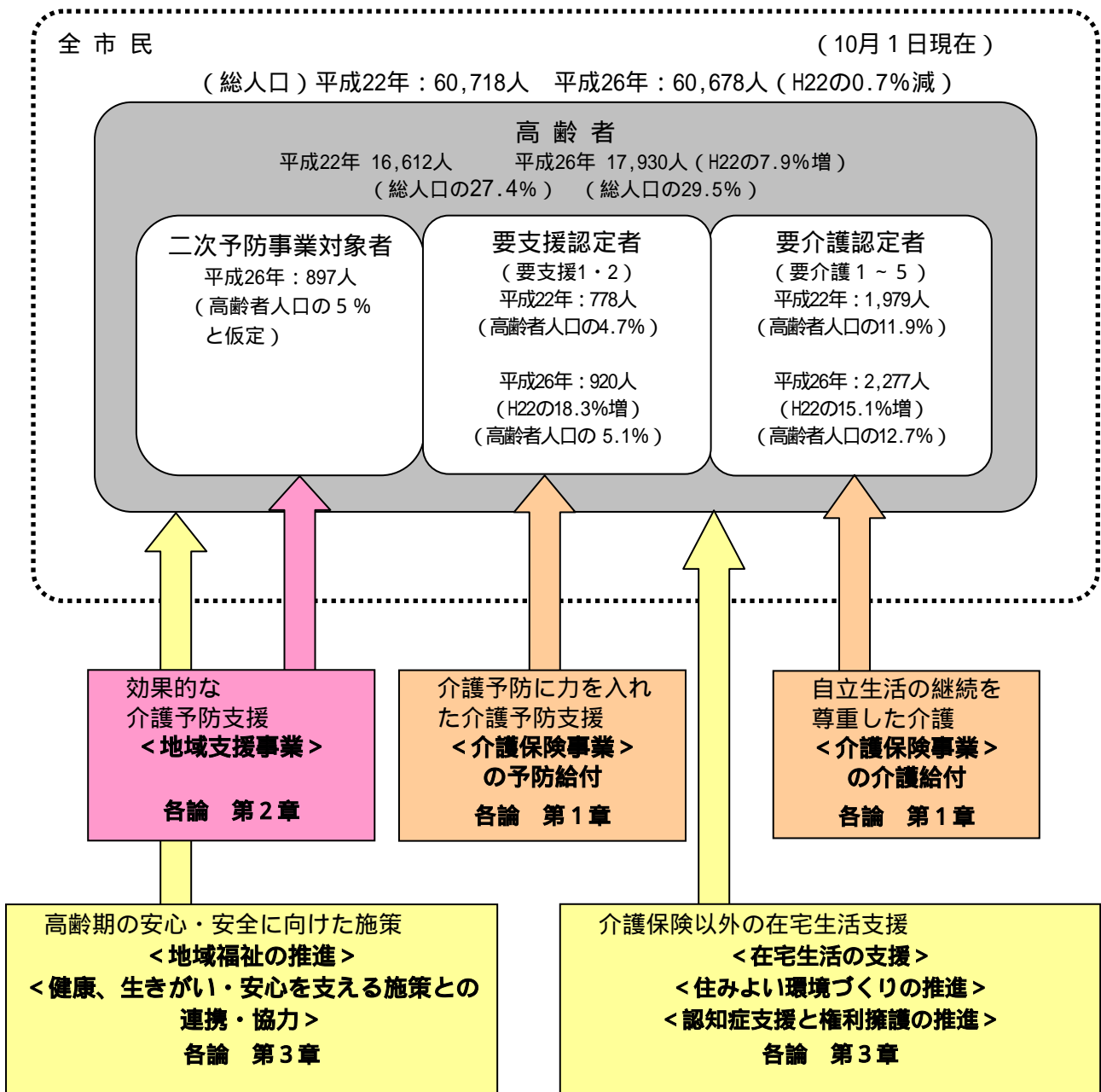
要支援1	100	100	110	110	113	116	118	121	124
要支援2	100	109	111	123	127	131	134	137	141
要介護1	100	109	120	120	123	127	130	133	137
要介護2	100	110	118	124	127	131	135	138	142
要介護3	100	95	98	91	95	98	101	104	107
要介護4	100	101	97	102	106	109	113	116	120
要介護5	100	124	136	148	153	158	163	167	172

第1号保険者及び第2号被保険者の合計値。(各年10月1日現在)

(人数)



## 対象者区別に見た支援イメージ



二次予防事業対象者：介護保険の要介護・要支援認定者ではありませんが、閉じこもりや虚弱など、要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者です。国は、高齢者人口の5%程度と想定しています。対象者は、基本チェックリストなどにより、決定されます。

## 2 - 2 計画目標

### (1) 第5期計画期間中の施設等の整備方針

計画期間中に、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入所者生活介護の基盤整備を見込んでいます。

#### 第5期計画期間中の新規・増設等の見込み

区分	施設種別	第5期の目標
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	・第4期計画の100床を本計画期間中に整備する。
	介護老人保健施設	・100床の新設を目指す
入居施設	認知症対応型共同生活介護	・2ユニット(定員18人)の新設を目指す
	特定施設入居者生活介護	・200床の新設を目指す

#### [市内の施設等の現況]

区分	施設種別	施設数	定員数
入所施設	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	2 箇所	168人
	介護老人保健施設	2 箇所	175人
入居施設	認知症対応型共同生活介護	5 箇所	62人
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1 箇所	23人
	特定施設入居者生活介護	1 箇所	53人

平成23年10月1日現在

## (2) 入所・入居施設利用の目標

介護保険3施設では療養病床の転換を、また、居住系サービスでは今後の居住系サービスのニーズを加味して、将来の施設・居住系サービスの利用者を見込みました。住み慣れた地域での生活を継続できるよう、在宅と施設のバランスのあるサービス提供を目指します。

### 入所施設利用の将来展望

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者		437	449	567
介護老人福祉施設	利用者数	229	233	327
	市内施設定員数	168	168	268
介護老人保健施設	利用者数	195	203	227
	市内施設定員数	181	181	281
介護療養型医療施設	利用者数	13	13	13
	市内施設定員数	0	0	0

利用者数は各年度10月1日現在。施設定員数は3月31日現在。

### 入居施設利用の将来展望

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
居住系サービス利用者		80	80	98
認知症対応型共同生活介護	利用者数	62	62	80
	市内定員数	62	62	80
特定施設入居者生活介護(介護専用型)	利用者数	-	-	-
	市内定員数	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	利用者数	18	18	18
	市内定員数	23	23	23

利用者数は各年度10月1日現在。定員数は3月31日現在。

### 要介護2～5に占める入所・入居施設利用者の割合

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者	437	449	567
居住系サービス利用者	80	80	98
施設・居住系サービス利用者計(A)	517	529	665
施設・居住系サービス利用者に占める要介護2～5の割合(=A/B)	29.7%	29.4%	35.8%
要介護2～5の認定者(B)	1,739	1,798	1,855

### (3) 介護保険3施設を利用する重度者への重点化の目標

施設利用者に占める要介護4・5の割合は、療養病床の転換、介護老人福祉施設の利用者の重度化を加味して、将来の施設サービスの要介護4・5の人数を見込みました。運営基準に沿った入所基準に従って施設利用を進めるとともに、在宅生活へのサポート体制も整備していきます。

#### 入所施設利用者に占める重度者割合

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者 (A)	437	449	567
うち、要介護4・5の人数 (B)	284	299	362
施設利用者に占める要介護4・5の割合 (= B / A)	65.0%	66.6%	63.8%